

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 16日

中施策事業名	リサイクル推進事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	松本 裕介
①めざすまちの姿	06 人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである		
②大施策	ごみが落ちていないきれいなまちをつくる		
③中施策	人々のマナーの向上を図る		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	ごみとして排出されている資源物が資源としてリサイクルされている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 資源回収 ・ リサイクルの普及		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
リサイクル率	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	26.9	26.9	26.9	0	0	0
	実績値	28.4	27.8				
単位	%						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				166, 435千円	165, 999千円	
	a 事業費合計			166, 435千円	165, 999千円	171, 405千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				24, 877千円	26, 201千円	26, 733千円
③ コスト (①－②)				141, 558千円	139, 798千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				2, 057 円	2, 031 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>本事業の進捗は順調であり、目標も達成できてはいるものの、いまだ可燃ごみ中に含まれる資源物は、一定の割合で推移しており、リサイクル率も昨年度より減少していることから事業の工夫の余地はある。また、リサイクルを推進するためには、市民の理解も重要となってくることから、より分かりやすい分別方法や周知の仕方を検討する余地もあるといえる。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	ごみの分別案内（パンフレット）の作成年度であることから、わかりやすさを追求したものを作成する。また、意見交換会などあらゆる機会を好機と捉え、資源化を促す広報、啓発を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	資源化可能な排出物について、本市の実情を踏まえ、事業設計が可能か研究していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 7月 8日

中施策事業名	ごみ減量啓発事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	松本 裕介
①めざすまちの姿	06 人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである		
②大施策	ごみが落ちていないきれいなまちをつくる		
③中施策	人々のマナーの向上を図る		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民が排出するごみが減っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ ごみ分別パンフレット ・ アダプトプログラムの推進 ・ ごみ減量化推進 ・ 事業系一般廃棄物の減量化推進 ・ とよあけクリーン月間 ・ 資源分別説明会 ・ 食品ロス削減 ・ 出前講座		

■評価指標

中 ・ 長 期 成 果 に 対 す る 目 標 達 成 状 況							
資源説明会、出前講座の参加人数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	360	500	500	0	0	0
	実績値	1,060	1,085				
単位	人						
1人1日あたりの可燃・不燃ごみの排出量	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	410	410	410	0	0	0
	実績値	453	444				
単位	g						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				4, 290千円	832千円	
	a 事業費合計			4, 290千円	832千円	2, 760千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				6千円	6千円	6千円
③ コスト (①－②)				4, 284千円	826千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				62 円	12 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>リサイクル推進、有機循環推進の各種施策の効果から、出前講座の聴講者数も微増し、環境課としての周知活動が結実してきている。また、令和4年度より開催している環境フェスタも、開催日程の問い合わせが入るなど、市のイベントとしての認知がされていることから、今後もあらゆる機会を捉え、ごみの減量化にむけ、さらなる成果があがるよう努める。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	SNSや、HPを効果的に活用し、あらゆる機会を好機と捉え、ごみの減量につながる効果的な方法を継続して発信していく。また環境フェスタについては、防災防犯対策課と合同開催することから、これまで環境イベントに触れてこなかった層も取り込み、より効果のある取り組みを実施する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	ごみの分別案内（パンフレット）の更新年度であることから、市民へのわかりやすさを念頭に作成していく。また、出前講座の内容精査に加えて、リチウムイオンバッテリーなどの蓄電池類の安全な排出及び処理、またミックスペーパー事業の検討も行い、ごみの分別区分を見直すことで、より減量化に効果のある事業としていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 17日

中施策事業名	不法投棄対策事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	松本 裕介
①めざすまちの姿	06 人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである		
②大施策	ごみが落ちていないきれいなまちをつくる		
③中施策	人々のマナーの向上を図る		
④中施策事業の対象	市域		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	不法投棄がない		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・環境保全一般		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
不法投棄数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	230	180	180	0	0	0
	実績値	89	100				
単位	件						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				2, 290千円	3, 202千円	
	a 事業費合計			2, 290千円	3, 202千円	3, 260千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				2, 290千円	3, 202千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				33 円	47 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>A</p> <p>今後も監視を続けていくことで、不法投棄が行われにくい環境にしていくことができる。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	定期的な巡回により、早期発見とともに警告ラベル処理を行うことで監視体制を強化していく。他課の情報共有による不法投棄の早期発見にも努めていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	警告ラベルによって抑止力を促すという対処療法的な方法と合わせて、なぜ不法投棄が望ましくないのかといった啓発的な抑止を行い、啓発をする必要がある。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 17日

中施策事業名	新エネルギー推進事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	松本 裕介
①めざすまちの姿	09 空気がきれいである		
②大施策	きれいな空気を保全する		
③中施策	エコライフを促進する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	多くの市民等が、再生可能エネルギー設備を積極的に導入し、「地域のエネルギーで豊かに暮らすまち・豊明（新エネルギー推進計画）」を実感するようになる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 地中熱利用事業に関すること ・ 太陽光発電屋根貸し事業に関すること ・ 太陽光発電事業の計画立案に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
再生可能エネルギー（太陽光発電等）による年間売電 量	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	29,649	29,649	29,649	0	0	0
	実績値	26,339	24,635				
	単位	MW h					
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				61, 307千円	60, 354千円	
	a 事業費合計			61, 307千円	60, 354千円	62, 900千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				0千円
③ コスト (①－②)				61, 307千円	60, 354千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				891 円	877 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>水上太陽光発電については、銅線盗難による売電収入の減少があったが、早急に修繕対応したことにより、通常の売電収入を確保することができている。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	市民一人ひとりが将来のエネルギー課題について取り組みを継続できる再生可能エネルギーへの関心を高めるための啓発が必要である。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	水上太陽光発電事業については、安定的な発電量を維持できるように、適切な維持管理を務めていく必要がある。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 11月 7日

中施策事業名	合併処理浄化槽設置補助事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	松本 裕介
①めざすまちの姿	09 空気がきれいである		
②大施策	きれいな空気を保全する		
③中施策	市内の大気汚染や悪臭の問題を少なくする		
④中施策事業の対象	下水供用区域外の住居		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽となっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・生活排水		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
市内単独処理浄化槽数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	1,850	1,840	1,830	0	0	0
	実績値	1,895	2,272				
単位	基						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				4, 447千円	1, 154千円	
	a 事業費合計			4, 447千円	1, 154千円	155, 808千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				2, 242千円
③ コスト (①－②)				2, 205千円	573千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				32 円	8 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>下水道区域の見直しに伴った、単独処理浄化槽及び汲み取り便槽からの合併処理浄化槽への切り替えを重点的に進めていく必要がある。</p> <p>実績値については、愛知県の浄化槽台帳を基に算出しており、令和6年度に見直しがあったため、前年度より増加した。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	合併処理浄化槽への転換補助金、合併処理浄化槽維持管理補助金により、既存の浄化槽切替・適正管理を促していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	継続的に合併処理浄化槽への転換補助金、合併処理浄化槽維持管理補助金により、既存の浄化槽切替・適正管理を促していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 17日

中施策事業名	公害対策事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	松本 裕介
①めざすまちの姿	09 空気がきれいである		
②大施策	きれいな空気を保全する		
③中施策	市内の大気汚染や悪臭の問題を少なくする		
④中施策事業の対象	市内の河川及び大気		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	河川の水質が浄化されているとともに車等の排気ガスが抑制されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 公害		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
河川の春季におけるBODの環境基準（3mg/L以下）達成箇所数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	5	6	6	0	0	0
	実績値	8	8				
単位	箇所						
大気環境測定局における浮遊粒子物質の測定値（年平均）	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	17	17	17	0	0	0
	実績値	15	15				
単位	ppm						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				8,626千円	8,352千円	
	a 事業費合計			8,626千円	8,352千円	9,242千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	0千円
③ コスト (①－②)			8,626千円	8,352千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))			125 円	121 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>A</p> <p>河川等の水質調査を実施するとともに数値を公表し、公害対策に努めた。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	測定箇所や項目について検討を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>今後にも必要に応じて測定箇所や項目などを見直していく。</p> <p>測定局に関しては状況に応じた在り方を検討していく必要がある。</p>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 7月 16日

中施策事業名	温暖化対策推進事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	松本 裕介
①めざすまちの姿	09 空気がきれいである		
②大施策	きれいな空気を保全する		
③中施策	排気ガスの排出量を抑制する		
④中施策事業の対象	公用車		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	温室効果ガスが削減されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 地球温暖化対策立案に関すること ・ エコアクションプランに関すること ・ 省エネルギー政策の推進に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
公用車における温室効果ガス総排出量についての対26年度削減比率	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	5	5	5	0	0	0
	実績値	12.5	12.5				
	単位 %						
住宅用地球温暖化対策設備等設置費補助金申請件数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	20	20	20	0	0	0
	実績値	4	1				
	単位 件						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				2,315千円	1,989千円	
	a 事業費合計			2,315千円	1,989千円	1,000千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
	② 補助金等 (収入)				50千円	12千円
③ コスト (①－②)				2,265千円	1,977千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				33 円	29 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>エコアクションプランによる取り組みを推進することにより温室効果ガスの削減を進めることができた。</p> <p>住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金については、V2Hが対象であるが、災害時の電力確保手段として有用であることに代わりがないため、継続していきたい。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	V2Hに合わせて、今年度新設した蓄電池の補助金を啓発を行う必要がある。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>市民一人ひとりが地球温暖化対策について課題意識を持つことができるよう、関心を高めていくための啓発が必要である。</p> <p>補助事業継続していくことと温室効果ガスに寄与する施策の検討が必要である。</p>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 16日

中施策事業名	有機循環推進事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	松本 裕介
①めざすまちの姿	10 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティになっている		
②大施策	自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる		
③中施策	市民とともに緑が続く環境をつくる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	可燃ごみとして排出されている生ごみが各家庭で堆肥化・減量化されている。		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 生ごみ堆肥化促進容器等購入費補助金交付事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
補助金を交付した 生ごみ堆肥化促進 容器数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	30	30	30	0	0	0
	実績値	54	81				
単位	基						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和05年度	令和06年度	令和07年度	
① 総事業費 (a+b)				2,662千円	3,185千円		
	a 事業費合計			2,662千円	3,185千円	3,511千円	
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)			2,662千円	3,185千円			
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				39 円	46 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>令和5年度から電動式の生ごみ減量化容器の購入補助を開始したことにより、前年度と比較し、申請件数も大幅に増加している。このことにより、徐々に可燃ごみとして排出されていた生ごみが減量化されてきていると考えられる。また、ダンボールコンポストを中心とした出前講座も継続して実施し、有機循環を通して生ごみの減量化への啓発も浸透してきていると考える。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	生ごみ減量化容器等購入費補助の案内、また当該容器の減量化効果をわかりやすく周知啓発を行うとともに、引き続きダンボールコンポスト中心として出前講座を実施し、幅広い世代への普及促進を行っていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	生ごみ減量化容器等購入費補助の申請件数が増加していることから、その推移を検証、普及促進に有効な方法を模索していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 17日

中施策事業名	墓地管理事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	松本 裕介
①めざすまちの姿	10 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティになっている		
②大施策	自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる		
③中施策	生活利便性の高い街をつくる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	勅使墓園が有効に利用されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 墓地 ・ 火葬場 ・ 墓園事業		

■評価指標

中 ・ 長 期 成 果 に 対 す る 目 標 達 成 状 況							
空墓所数の残数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	707	702	697	0	0	0
	実績値	707	732				
単位	基						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				18, 043千円	18, 181千円	
	a 事業費合計			18, 043千円	18, 181千円	23, 200千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	0千円
③ コスト (①－②)			18, 043千円	18, 181千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))			262 円	264 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>近年、家族形態の変容から墓離れの傾向が進みつつあり、使用許可件数は前年度より減少して、墓所の使用許可件数が返還件数を下回った。</p> <p>維持管理については、指定管理者制度の導入により、都市公園との包括管理を実施し、スケールメリットによるコスト削減とともに、お盆やお彼岸において仏花を販売したことや、墓の見守りサービス（区画内の雑草除去・墓石掃除・お墓参りなど）を行うなど、市民の声に応じたよりよい墓園経営に努めた。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	指定管理者制度による都市公園との包括管理を実施し、スケールメリットによるコスト削減とともに更なるサービス向上を図る。 老朽化した樹木の対策や桶の手置棚の設置を検討実施する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	指定管理者制度による都市公園との包括管理において、利用者へのサービス向上の施策について指定管理者と協議を引き続き行う。 長期の墓園の在り方については、将来利用者まで含めた需要等を考慮し、経営と運営の持続可能性について具体的な検討を進める。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等